

序

平成22年度における当センターの事業計画については、関係機関の御支援・御協力をいただきながら、取り組みをすすめてきた結果、計画した事業のすべてについて円滑に実施することができました。その概要について申し上げますと、はじめに、調査事業においては、28遺跡の発掘調査と報告書作成のため整理作業を実施し、3遺跡の発掘調査報告書を刊行いたしました。

本県における近年の発掘調査の傾向は、県公共事業の減少は引き続き見られるものの、国による新直轄事業の高速交通網整備に伴う事業が主体となっており、高速交通網の整備率が低い本県にとっては、その傾向はしばらく続くものと考えております。公共事業の円滑な進捗を図るためにも、今後予想される高速道路の整備状況や県の公共事業等の事業量を的確に把握しつつ、調査体制の整備に努めていかなければなりません。また、私どもの重要な施策である埋蔵文化財保護の重要性の周知や、埋蔵文化財を通して古代の人との心の交流の場を県民の皆さんに提供するとともに、引き続き県民の皆さんの目線に留意しながら、責任ある発掘調査を基本とした調査研究に取り組んでまいります。

次に、普及啓発事業につきましては、ホームページでの情報発信や調査遺跡における発掘調査説明会の開催、広報誌「埋文やまがた」の刊行などを通して、埋蔵文化財の調査研究の成果を県民の皆さまにお知らせしてまいりました。

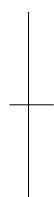
特に今年度は、「夏休み親子発掘体験」や「ふるさと考古学入門」を開催し、考古学の面白さや古代人の知恵や工夫に触れる機会をもつことができました。また、山形県立うきたむ風土記の丘考古資料館・鶴岡市立図書館との共同展示や、村山総合支庁・山形空港ビル・庄内空港ビルでの「出前展示」を行い、県民の皆さんに出土品を公開し、当センターの事業への理解や文化財保護の重要性について広く普及を図ったところです。また、今年度は特に、身体障がい者、知的障がい者の方々が利用する施設である東根市の「東紅苑」において展示を行い、埋蔵文化財を身近に感じていただき好評を得たところです。

平成20年度から開催している「山形県埋蔵文化財センター参観デー」は、内容を充実しながら、企画展示、センターの業務内容の紹介、勾玉作り、整理作業などの考古学体験を実施したところ多くの来場者がありました。さらに、学校現場からの依頼を受けた「出前授業」は26校で実施したほか、職員を派遣しての講演や調査研究発表等を実施してまいりました。

今後も次世代を担う子供達を中心に、地域の伝統文化の大切さや、誇りと自信の持てる地域づくりの一環として、さまざまな機会を活用して、県民共有の文化遺産としての価値ある埋蔵文化財を後世に伝えていくため、職員一同、一層研鑽を重ねていく所存であります。

平成23年3月31日

財団法人 山形県埋蔵文化財センター
理事長 相馬 周一郎



目 次

I. 管理運営概要

1. 沿 革	1
2. 組 織	
(1) 役員及び評議員	1
(2) 職制及び人員	2
(3) 組 織	2
(4) 職 員	3
3. 施 設	4

II. 事業概要

1. 調査業務	5
(1) 調査遺跡一覧	6
(2) 調査遺跡の概要	
高瀬山遺跡 (HO) 3期	8
鎌倉上遺跡	12
馳上遺跡	16
西谷地b遺跡	20
松橋遺跡	24
田向遺跡	28
田向2遺跡	29
経塚森遺跡	30
清水遺跡 (1)	31
清水遺跡 (2)	35
東熊野苗畑遺跡	39
北原2遺跡	43
北原4遺跡	44
沼田1遺跡	45
沼田2遺跡	46
八合田遺跡	48
森の原遺跡	49
出張坂城跡	50
作野遺跡	51
2. 普及啓発等業務	
(1) 研修等	
①全国埋蔵文化財法人連絡協議会事業への派遣	55
②埋蔵文化財担当者専門研修への派遣	55
(2) 情報処理	
収蔵図書データベース	55

(3) 普及啓発

①ホームページ	56
②山形県埋蔵文化財センター参観デー やまがた埋文祭り2010	56
③平成22年度発掘調査速報会	56
④外部展示	57
⑤学校への協力	58
⑥来所者	59
⑦職員派遣等	61
⑧調査説明会	61
⑨資料貸出	62
⑩資料掲載許可	62
⑪出版物	62

(4) 調査研究発表

土器片が集中した理由

—村山市東熊野苗畑遺跡で発見された土器集中部から見える古代の生活の様子— 大場正善・濱松優介	63
---	----